

◇学校自己評価結果のお知らせ

保見中学校の教育活動について、教職員が自己評価を行いました。結果をまとめましたので、お知らせします。

よくできていると感じている点

- 学習や行事等を通して共生の心を育てる。(国際理解教育)
- 児童生徒との日常のふれあいを大切にするとともに、教育相談を計画的に実施し、児童生徒理解に努めている。
- 指導方法や教材の工夫等により、基礎基本の定着度を向上させている。
- 個別指導、グループ指導やT T・少人数指導等の工夫を積極的に行い、個を生かす学習指導を充実させている。
- いじめ、不登校、触法行為などの予防と早期発見、早期対応に努めて、職員の共通理解のもと組織的に対応している。
- 特色ある学校づくり推進事業が児童生徒の教育活動に効果的であるとともに、事業の計画や成果が広く理解されている。

さらに努力が必要と感じている点

- 基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上のために、具体的な方策を講じている。
- 自らの安全を守るための正しい知識と行動に関する指導を計画的に行い、意識の高揚を図っている。
- 地域・保護者ボランティア等を継続的に活用し、地域活性化に視点をおいた地域ぐるみの教育活動の展開に努めている。
- 主体的に環境保全に取り組む態度の育成に努めている。



以上の結果を踏まえ、次の点に力を入れていきます。

保護者アンケートと学校自己評価からの改善点

- 基本的な生活習慣の定着やデジタルシティズンシップ教育など、規範意識向上に向けて、地域や保護者との連携を含めた取組を計画していきます。
- 学校教育目標を全教職員で共通理解して教育活動を実践するとともに、学校の取組や生徒の活動の様子を学校ホームページなどで積極的に紹介し、保護者や地域の方にご理解ご協力いただけるようにしていきます。
- 「アートダストボックスプロジェクト」や「卒業奉仕活動(学区のごみ拾い)」などの環境保全に関する地域体験活動を引き続き年間計画に取り入れるなど、環境意識の高い生徒の育成や地域ぐるみの教育の推進に努めます。
- ICT機器の活用や少人数指導を継続するとともに、ユニバーサルデザインを意識した分かりやすい授業づくりなど、すべての生徒が伸びる授業づくりを目指して指導方法の研究を進めていきます。
- 学校行事のもち方、学習支援の方法、施設の管理、教師の行動など、アンケートでご意見いただいたことを参考にして改善点等を検討し、教育活動を進めていきます。